

講習会名 「出前講座 介護食 食事・研修会」
にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会主催

日 時 平成 26 年 10 月 12 日（日） 午前 11 時から午後 3 時

場 所 社会福祉法人魚野福祉会
特別養護老人ホーム うおの園（魚沼市）

参加者数 25 名

概 要

本研修会は、にいがた摂食障害サポート研究会初の「出前講座」という形で、魚沼市の特別養護老人ホーム「うおの園」にて開催された。「高齢者施設の介護食を食べて、連携を進めよう」をテーマに、多数の管理栄養士・栄養士に加え、歯科医師、看護師、歯科衛生士、言語聴覚士といった医療関係者および介護福祉関係企業の方々にご参加いただいた。

まず、井上誠先生（新潟大学）から、「摂食嚥下機能障害について」として摂食機能障害の社会的背景および症例報告を交えた解説、さらには今後の検討課題についてご講演いただいた。

続いて、本田理恵先生、志塚めぐみ先生から、「うおの園で提供されている介護食の取り組み」について解説いただいた。4年という長い時間をかけて開発されたゼリー食について、本田先生は管理栄養士、志塚先生は言語聴覚士という立場から、最期まで食べていただくための真摯な取り組みをご紹介いただいた。

その後、本研修会の目玉として、「うおの園で提供されている介護食の試食会」が行われた。食材によって加水量、ゲル化剤の添加量を工夫したゼリー食（和風ハンバーグ、ぶり大根、チーズのサラダ）が提供された。参加者からは、「味がしっかりしている」、「口の中に入れても形が崩れない」などゼリー食に対する賞賛の声が多く聞かれた。

別府会長（ホリカフーズ）による「嚥下障害食と食品性状のマッチング」に関する講義の後、ご講演いただいた先生方に加えて、うおの園の給食委託業を担当されている大熊様を交えてパネルディスカッションが行われた。参加者からは自分の施設での取り組みなどの紹介があり、様々な職種の立場から、活発な意見交換が行われた。

講演会風景



